

音楽教育における和太鼓演奏に関わる一考察  
—「音楽教育B」受講生の調査結果をふまえて—

A study on playing the “wadaiko” in musical education  
—Based on a survey of a “Music Education B” class—

大 串 和 久\* (平成24年2月14日受理)

要約

幼稚園や保育所でも扱われる和太鼓演奏の基礎技能を習得するために、入門用の簡易曲を口唱歌により伝承する方法と楽譜を用いて演奏する従来の西洋音楽で扱う方法に分けて授業展開し、事後調査結果を比較し考察する。

キーワード：和太鼓、音楽教育、口唱歌

keywords：“Wadaiko”, musical education, “kuchisyoga”

1. はじめに

実習巡回先の保育施設や幼稚園で園児たちの活発な和太鼓の演奏に出会うたびに、その接続先である小学校の学習指導要領で日本の伝統音楽の取り扱いについて重視されてきている<sup>\*1</sup>ことが実感される。本学開講で筆者の担当する器楽Aや音楽教育Bの受講生からも自身の幼稚園・小学校在学時に和太鼓に触れた話を聞くことがある。今後は中学校・高等学校でも日本の伝統音楽を取り扱う機会が以前よりも多くなり、和太鼓をはじめとして箏曲や三味線、尺八等の演奏を経験して入学してくる学生が増えるものと思われる。

そこで、専門の和太鼓奏者の如く素晴らしい演奏を仕上げるために基礎から丹念に積み上げていくという徹底した練習時間は取れないまでも、バチを振り下ろせば音が鳴り、音色そのものにも日本人にとってどこか懐かしい情緒を感じる魅力がある「和太鼓」に今回は的を絞って考察を進める。

2. 本学授業での取り扱い

本学の教育課程の中で音楽に関する授業のうち筆者が担当している「音楽教育B（第一部・1年Ⅱ期＝4講座／第三部・2年Ⅱ期＝3講座）」15回授業のうち4回、1回90分中の20～30分を用いて展開する。授業に使用する教室には長胴太鼓7

張、締太鼓2張、バチ10組を所蔵しており、一講座30数名が一斉に演奏することは不可能なものと、西洋音楽のみで歌唱・器楽の表現活動を続ける中、突如日本の伝統音楽を取り扱うことへの違和感を避けるために、以下のような教材・教具使用とローテーションを用いた授業展開を実施した。

(1) ラップの芯と空き箱を用いた『紙太鼓』

市販のラップ・ホイル等の芯（直径2～3cm、長さ30～40cm）を2本（可能な限り同サイズの物）と30cm四方程度の段ボール小箱（ティッシュケースに古新聞紙を詰めても可）を『マイバチ』『マイダイコ』と称して使用するため7回目の授業までの間に各自収集しておくことを開講1回目に表示する。

(2) 「風になりたい」の演奏（『紙太鼓』のみ）

第7回目の授業で西洋音楽を基調として歌いながらリズム演奏が多用される「風になりたい」<sup>\*2</sup>を取り扱い、『マイバチ』で楽譜に記されたリズム通りに『マイダイコ』を打つ。この時、後日実際に手にする本物の和太鼓のバチを打ち易くするために「前へならえ」の基本姿勢を徹底する。

(\* おおぐしかずひさ 保育科講師 音楽)

表 1)

《調査のお願い》  
 この調査は、音楽教育Bの授業中に扱った和太鼓の演奏にかかわる、みなさん自身が理解していること、感じたことなどをおききするものです。調査の結果は統計的に処理し今後の授業展開の向上に役立てたり、学術目的（論文や学会等での発表）で扱うのみですから、**みなさん個人の成績には全く影響しません。また「無記名」回答なので発表等の中で個人を特定することも全くありません。**率直な回答をぜひお願いします。  
 調査者 兵庫大学短期大学部 大串和久

(平成23年12月 \_\_\_\_日 調査実施)

## 平成23年度 和太鼓演奏に関わるアンケート調査

A. あなた自身のことについて質問します。該当する番号に○をつけてください。

0 1) 性別 ; 1. 男      2. 女

0 2) 学科 ; 1. 保育科第一部      2. 保育科第三部

B. 今回の音楽教育Bで和太鼓を演奏する以前に、和太鼓演奏の経験がありますか。下記の該当する番号に○をつけてください。

1. 全く無し      2. 1～5回程度ならある      3. 授業や課外活動等で半年～2年程度、定期的に経験した      4. 同左、3年以上

C. 下記の項目について、最も当てはまる、または近いもの**ひとつ**に○をつけてください。  
 注；統計上、空欄（未記入）があるとデータ集計ができないので**全問に答えてください。**

0 1) 楽譜について①；右手が上、左手が下、という見方は演奏に役立つと思いますか。

1. とてもそう思う      2. そう思う      3. あまりそうは思わない      4. 全然そうは思わない

0 2) 楽譜について②；「どん、どどんこ、どん、カカカ、そらこい！」のように歌詞の如く歌って覚えるのと、楽譜の音符を読んでその通り演奏するのでは、どちらの方が演奏しやすいと思いますか。

1. 楽譜なしで歌詞の如く歌って演奏するだけの方がよいと思う      2. 歌詞の如く歌って演奏して、あとからわからないところを楽譜で確認すればよいと思う      3. 楽譜でまずは練習して、わからないときに歌詞を付ければよいと思う      4. 楽譜だけで十分だと思う

0 3) 和太鼓音楽と西洋音楽における太鼓演奏について；「みのり」のような和太鼓だけの演奏と、「風になりたい」のような西洋音楽と打楽器（紙ドラム）の演奏とでは、どちらの方が次の各設問に対する気持ちが強いですか。和太鼓の方より近ければ1を、西洋音楽の方より近ければ4を、中間の場合はどちらか少しでも近い方を2または3へ○をつけてください。

	和太鼓	え(ど)ち(ら)か(と)い(ば)和(太)鼓	え(ど)ち(ら)か(と)い(ば)西(洋)音(楽)	西(洋)音(楽)
①演奏をしているとスカッとする(気分が晴れる).....	1	2	3	4
②演奏をしていると楽しい.....	1	2	3	4
③演奏する方法(技術)が難しい.....	1	2	3	4
④音色が好き(和太鼓と声⇄西洋音楽の歌唱と紙ドラム).....	1	2	3	4

0 4) 取扱い時間について①；1コマ90分の中で20～30分枠はどう思いましたか。

1. ちょうどよい      2. やや短いと思う      3. やや長いと思う      4. かなり長いと思う

0 5) 取扱い時間について②；15回授業のうちの4回枠はどう思いましたか。

1. ちょうどよい      2. やや少ないと思う      3. やや多いと思う      4. かなり多いと思う

0 6) 今後について；今後、授業以外で和太鼓演奏の機会があったら、どう思いますか。

1. ぜひ参加したい      2. 都合がいたら参加したい      3. たぶん参加しないと思う      4. 全く参加しないと思う

D. 和太鼓演奏について、裏面へ自由に意見・感想を書いてください。

♪以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

### (3) 「みのり太鼓」の演奏（『紙太鼓』と和太鼓）

第8回目の授業で「風になりたい」を復習したのち、和太鼓オリジナル曲の「みのり太鼓（初級用）」\*<sup>3</sup>に挑む。前述の通り、一講座受講の学生全員一斉演奏分の和太鼓を所有していないので、指導者の演奏提示用締太鼓（1）を除いた、長胴太鼓（7）と締太鼓（1）の計8張を交代（ほぼ4ローテーション）で演奏する。待機中は『マイバチ』『マイダイコ』を用いて同時に打ち練習時間に充当し最後には1張の和太鼓を3～4名で取り囲み強弱や振り付けも加え全員で臨む。

さらに演奏の「伝え方」について、第一部・1年4講座を2講座ずつ、第三部・2年3講座を2講座と1講座に分け、計7講座の中を西洋音楽で用いられる手法である事前楽譜配布4講座と、歌詞付けの如く（「どん、どどんこ、どん、カカカ〜」等）口唱歌のみによる3講座に展開方法を変えて実施する。通常は和太鼓演奏には楽譜を用いないが、西洋音楽において読譜の習慣がついている受講生にとって、どのように受け止められるのか、事後アンケートを実施し集計・分析・考察したい。

## 3. 平成23年度 和太鼓演奏にかかわるアンケート調査

第8～11回の4回にわたる和太鼓の授業を終え、楽譜使用の有無や表記の仕方、実際に演奏をしてみたの感想、取扱い時間等、調査を実施した。具体的な質問や表記については表1の通りである。

### (1) 対象

平成23年度「音楽教育B」は、学期当初第一部124名、第三部63名が履修登録し、第11回の授業出席者166名を対象に『平成23年度 和太鼓演奏に関わるアンケート調査』を実施した。

### (2) 方法

無記名によるアンケート調査であり、調査結果を学術目的で扱うこと、成績に全く影響ないことや発表の中で個人特定のないことを明記し口頭でも説明を加えた。

### (3) 有効回答数

全回答数166のうち未記入によるデータ欠落があった回答（2名分）を無効とし、164の有効回答をデータ元として集計・分析を行った。

### (4) 調査内容及び結果と考察

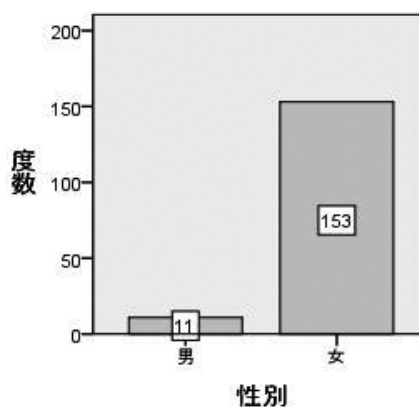
※集計・分析には IBM SPSS Statistics 20を使用。

各グラフの度数は人数を示す。

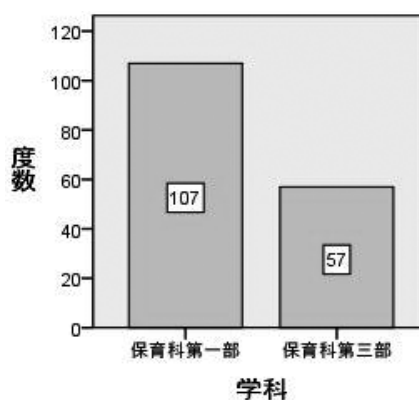
#### ①質問A（基礎情報項目）

結果はグラフ1-1、1-2の通りである。

グラフ1-1)

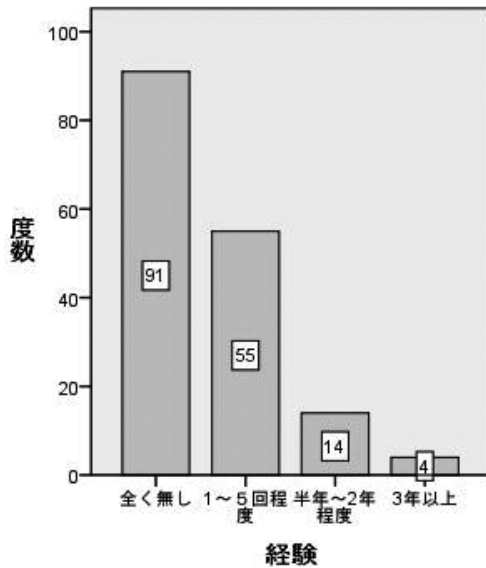


グラフ1-2)



②質問B（和太鼓経験項目）

グラフ 2)



結果はグラフ 2 の通りで、未経験は91 (55.5%)、1 回以上の経験者数は73 (44.5%) で半数近くの受講者が和太鼓に触れていたことがわかる。

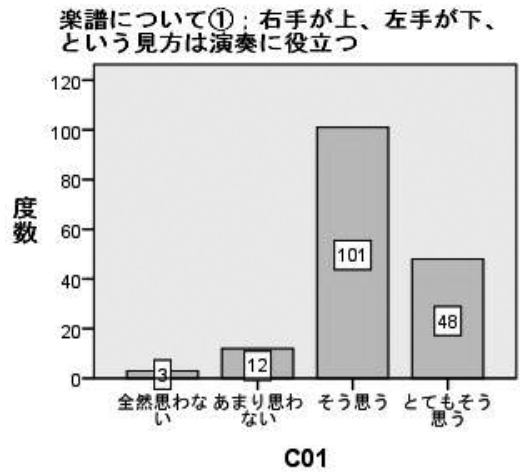
③質問C（実演に関わる項目）

質問Cは、もっとも当てはまる、または近いもののひとつに○をつけるもので、特にデータ集計不能となる空欄（未記入）の無いよう口頭でも注意を加えた。以下、各設問は [ ] 内に、集計結果はグラフに記す。

01) 楽譜について①；右手が上、左手が下、という見方は演奏に役立つと思いますか。

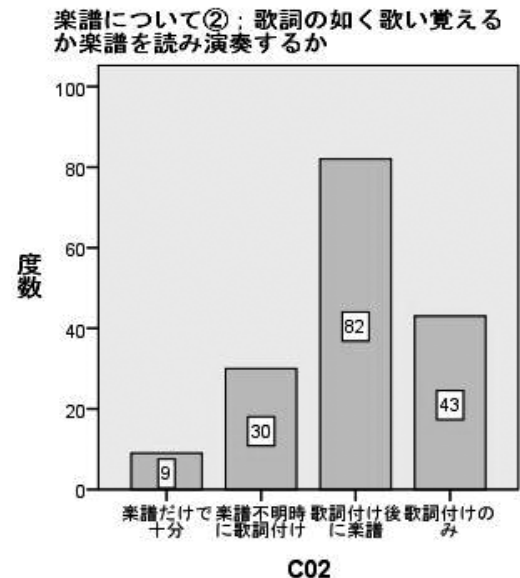
グラフ 3-1 から、一段譜による左右のバチ遣いの表記が演奏に役立つと149 (90.9%) の回答があり、日常よく使用する五線譜との違いに戸惑うことなく譜読みができていくことがわかる。

グラフ 3-1)



02) 楽譜について②；「どん、どどんこ、どん、カカカ、そらこい！」のように歌詞の如く歌って覚えるのと、楽譜の音符を読んでその通り演奏するのとでは、どちらの方が演奏しやすいと思いますか。

グラフ 3-2)



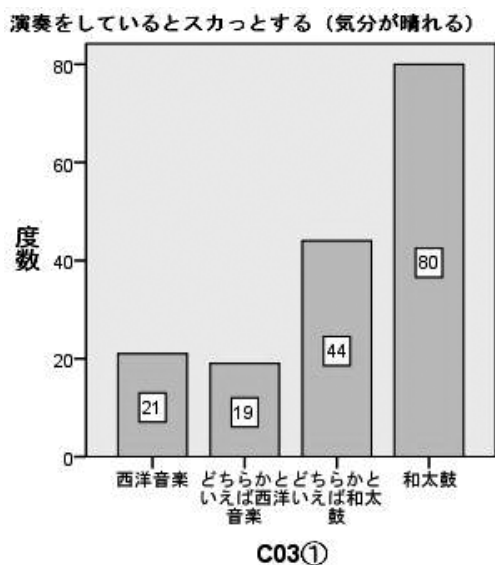
グラフ 3-2 から、歌詞付けのように「どん、

どどんこ、どん、カカカ〜」等の口唱歌のみで十分、または口唱歌のあとで楽譜により不明な部分を確認する、の計が125 (76.2%) であり、西洋音楽の様な楽譜の譜読みから始める (計39=23.8%) よりも演奏しやすいと回答している。現在、筆者が定期的に講習会へ参加している講座\*4でも入念な基礎打ちから楽曲に至るまで楽譜は殆ど使用せず展開し、和太鼓演奏、特に入門編としては親しみ易い方法と言える。

03) 和太鼓音楽と西洋音楽における太鼓演奏について；「みのり」のような和太鼓だけの演奏と、「風になりたい」のような西洋音楽と打楽器（紙ドラム）の演奏とでは、どちらの方が次の各設問に対する気持ちが強いですか。和太鼓の方により近ければ1を、西洋音楽の方により近ければ4を、中間の場合はどちらか少しでも近い方を2または3へ○をつけてください。

03-①「演奏をしているとスカっとする（気分が晴れる）」

グラフ 3-3 a)

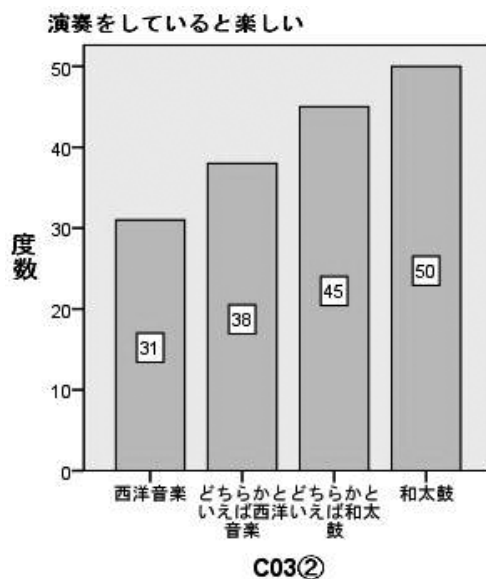


グラフ 3-3 a) には和太鼓の方を挙げる数が計

124 (75.6%) と示されているが、今回は「風になりたい」で従来西洋音楽で用いる打楽器を使用していないことから単純比較はできないまでも、実演に爽快感を得る意見が多数寄せられている。

03-②「演奏をしていると楽しい」

グラフ 3-3 b)

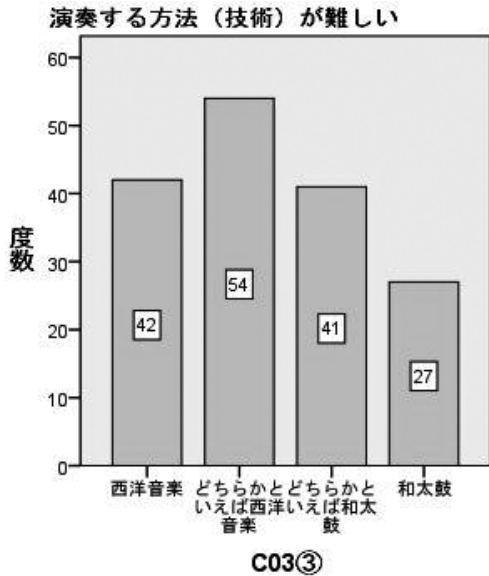


グラフ 3-3 b) に和太鼓の方を挙げる数が計95 (57.9%) とあり、前項目より29 (17.7ポイント) 減少していることから、爽快感と楽しさとは必ずしも一致するとは限らないことを示している。ローテーション待機や、配当時間等との関わりも考えられる。

03-③「演奏する方法（技術）が難しい」

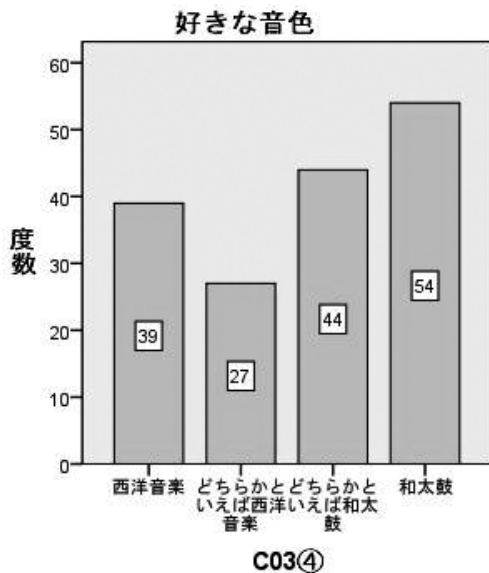
グラフ 3-3 c) には西洋音楽の方を挙げる数が計96 (58.5%) と示され和太鼓をやや上回っているが、「風になりたい」では歌唱部分が多いことや扱うリズムパターンに16分音符を多用している等との関わりも考えられる。

グラフ 3-3 c)



03-④「音色が好き（和太鼓と声⇔西洋音楽の歌唱と紙ドラム）」

グラフ 3-3 d)

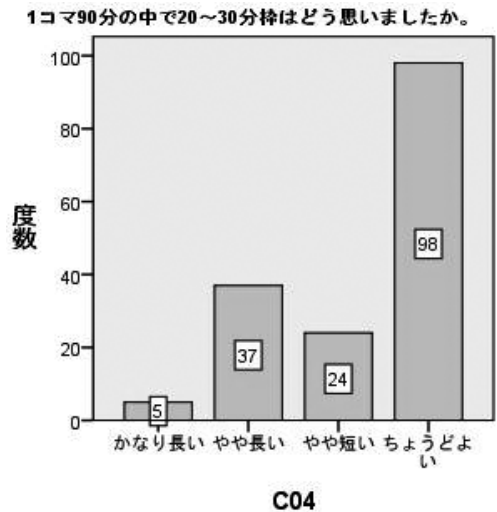


グラフ 3-3 d)には和太鼓の方を挙げる数が計 98 (59.8%) と示され、短い曲の演奏の中にも音

色に好意を寄せる声が 6 割近く挙がっていることがわかる。

04) 取扱い時間について①；1 コマ90分の中で 20～30分枠はどう思いましたか。

グラフ 3-4)



グラフ 3-4 に、「ちょうどよい」が 98 (59.8%) で 6 割近くに達している反面、「やや長い」「かなり長い」の計は 42 (25.6%) で 4 分の 1 が長いと感じている。ローテーションによる待機時間を効率よく半減できるよう今後展開方法を改善していくことが必要である。

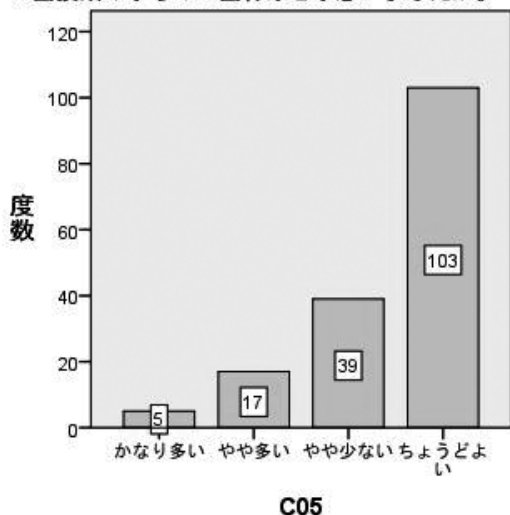
05) 取扱い時間について②；15回授業のうちの 4 回枠はどう思いましたか。

グラフ 3-5 で「ちょうどよい」は 103 (62.8%) で、「やや多い」「かなり多い」の計 22 (13.4%) を大きく上回っていることがわかるが、逆に「やや少ない」が 39 (23.8%) で 4 分の 1 程度が扱い回数の増加を望んでいるようである。音楽教育では、子どもの歌の弾き歌いをはじめ、呼吸法・発声をふまえた歌唱、合唱、器楽合奏（和・洋）、創作を限られた時間・施設の中で展開するため、これらをバランスよく配当している。今後

は1回目のシラバス説明時にこの点をわかりやすく説明する必要がある。

グラフ3-5)

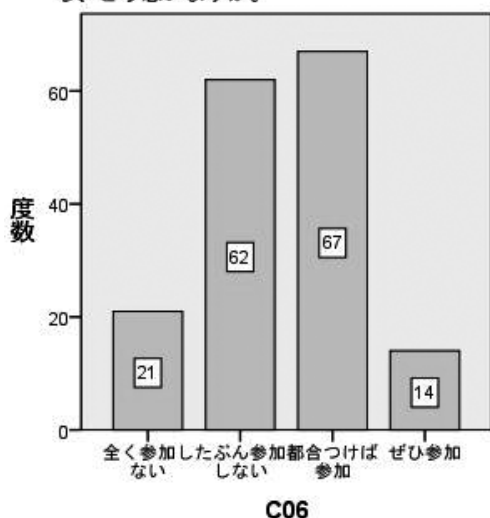
15回授業のうちの4回枠はどう思いましたか。



06) 今後について；今後、授業以外で和太鼓演奏の機会があったら、どう思いますか。

グラフ3-6)

今後、授業以外で和太鼓演奏の機会があったら、どう思いますか。



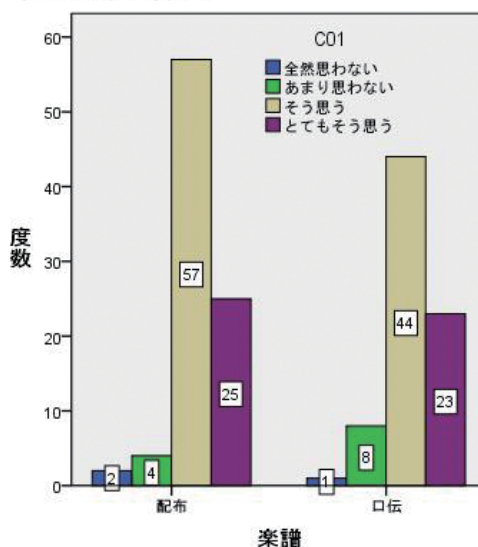
グラフ3-6から、「参加の意向あり」は81(49.4%)、「なし」は83(50.6%)とほぼ互角となっている。今後、一層参加の意向が高くなるよう研鑽を重ねたい。

通常、和太鼓演奏は楽譜を用いずに口唱歌によって伝えられる。しかし、音楽に触れる多くの時間を西洋音楽が占める昨今、楽譜によって記録を伝えていくことが当たり前になり、口唱歌のみで展開していくことに戸惑いをもつことはないか、または問題なく展開できるのかを7講座のうち4講座を事前楽譜配布、3講座を口唱歌のみ(全配当時間終了後に楽譜配布)の2通りの展開方法に分け実施した。この2つのグループ(楽譜事前配布=以下「配布」表記、口唱歌による伝え=以下「口伝」表記)のC項目に対するクロス集計=配布グループ4講座88名と口伝グループ3講座76名のC項目クロス集計結果を以下へ記す。

01) 楽譜について①；右手が上、左手が下、という見方は演奏に役立つと思いますか。

グラフ4-1)

楽譜について①；右手が上、左手が下、という見方は演奏に役立つ



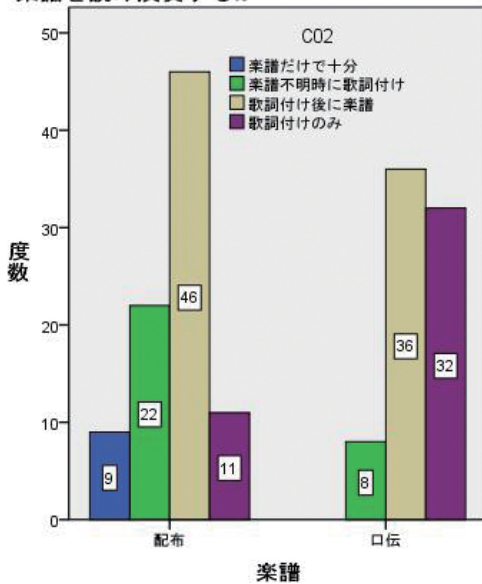
グラフ4-1から「とてもそう思う」「そう思

う」の計が、配布グループは82 (93.2%)、口伝グループは67 (88.2%) で、どちらのグループも役立つと思う受講生が大半を占めていることがわかる。

02) 楽譜について②; 「どん、どどんこ、どん、カカカ、そらこい!」のように歌詞の如く歌って覚えるのと、楽譜の音符を読んでその通り演奏するのとでは、どちらの方が演奏しやすいと思いますか。

グラフ 4-2)

楽譜について②; 歌詞の如く歌い覚えるか楽譜を読み演奏するか



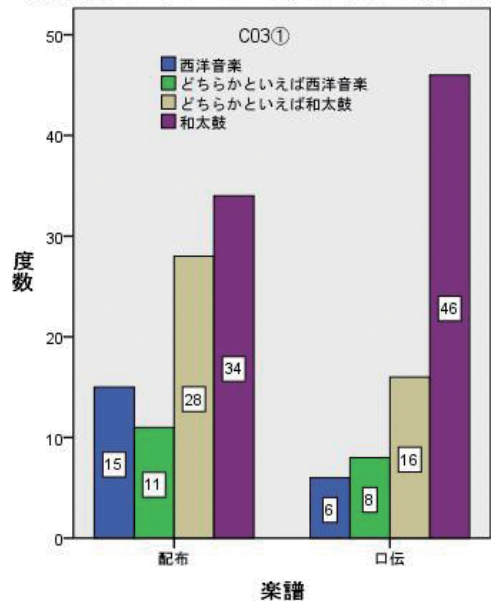
グラフ 4-2 には、「歌詞付けのみ」「歌詞付け後に楽譜配布」の計が配布グループは57 (74.8%)、口伝グループは68 (89.5%) となり14.7ポイントの差が生じていることが示されている。口伝グループでは最初から口唱歌を積み重ねていくうちに「歌詞」を声に出しながら太鼓を打つことで実演の太鼓打ちと歌詞との一致が演奏のしやすさにつながっているということを実感しているものと思われる。

03) 和太鼓音楽と西洋音楽における太鼓演奏について; 「みのり」のような和太鼓だけの演奏と、「風になりたい」のような西洋音楽と打楽器(紙ドラム)の演奏とでは、どちらの方が次の各設問に対する気持ちが強いですか。和太鼓の方により近ければ1を、西洋音楽の方により近ければ4を、中間の場合はどちらか少しでも近い方を2または3へ○をつけてください。

03-①「演奏をしているとスカッとする(気分が晴れる)」

グラフ 4-3 a)

演奏をしているとスカッとする(気分が晴れる)



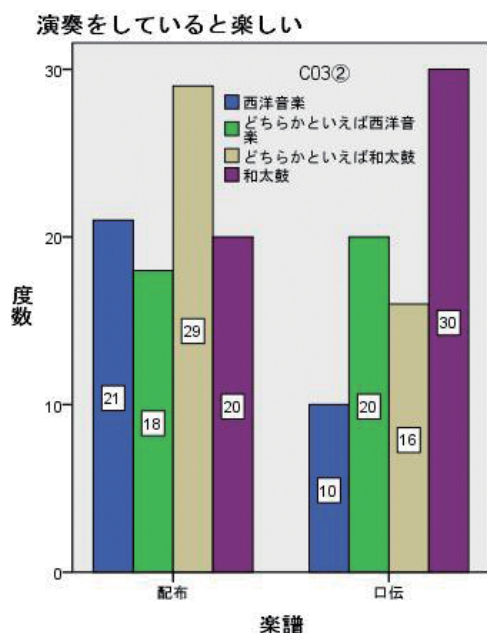
グラフ 4-3 a には、「和太鼓」「どちらかといえば和太鼓」の方を挙げる合計数が、配布グループは62 (70.4%)、口伝グループが62 (81.6%) ということ、和太鼓演奏の方がスカッとした気分を味わえる(11.2ポイントの差)と回答している。特に「和太鼓」のみに絞ると、配布グループは34 (38.6%)、口伝グループは46 (60.5%) となり21.9ポイントもの差が生じていることが示されている。「西洋音楽」のみを見てみると、配布グループは15 (17.0%)、口伝グループは6



(7.9%) となっており、これら各々の「西洋音楽」を選んだ値を1として「和太鼓」を選んだ値がどうなっているか見てみると、配布グループは2.27、口伝グループは7.67となり3倍を超える大きな差が生じていることがわかる。演奏のリズムを覚えるという行為が歌詞を覚えることだけでそのまま演奏につながり爽快感へと結びついているものと思われる。

### 03-②「演奏をしていると楽しい」

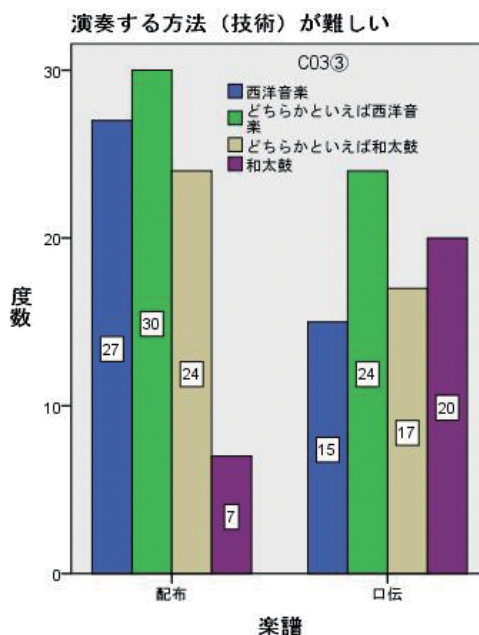
グラフ 4-3 b)



グラフ 4-3 bで、配布グループは「西洋音楽」が21 (23.9%)、「和太鼓」が20 (22.7%) でほぼ互角であることに対して、口伝グループは「西洋音楽」が10 (13.2%)、「和太鼓」が30 (39.5%) ということ、3倍の値を示していることがわかる。譜読みをせずに歌い覚えながら演奏できることが楽しいと感じる受講生が多いものと思われる。

### 03-③「演奏する方法（技術）が難しい」

グラフ 4-3 c)



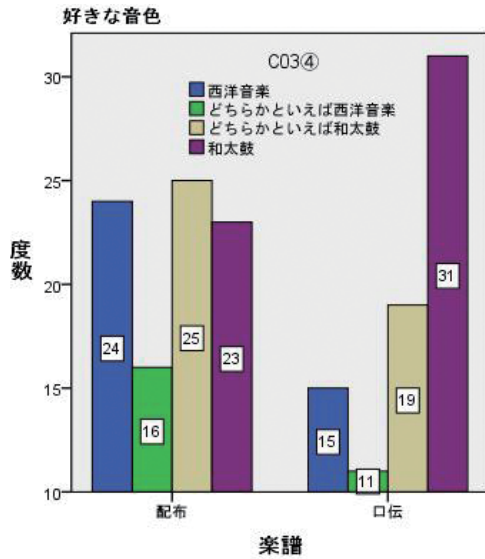
グラフ 4-3 cにおいて、配布グループは「西洋音楽」が27 (30.7%)、「和太鼓」が7 (8.0%) で23ポイントの差、4倍近い値を示し「西洋音楽の方が難しい」と回答していることに対して、口伝グループは「西洋音楽」が15 (19.7%)、「和太鼓」が20 (26.3%) ということ、7ポイントの差があるが、「どちらかといえば」をそれぞれ加えると「西洋音楽」は29 (51.3%)、「和太鼓」は27 (48.7%) となりほぼ互角となっている。1線譜で音符の上向き下向きによりが右手左手を明記してある和太鼓の楽譜を読んだの演奏が演奏方法も易しくできることにつながっているものと思われる。

### 03-④「音色が好き（和太鼓と声⇔西洋音楽の歌唱と紙ドラム）」

グラフ 4-3 dで、配布グループは「西洋音楽」が24 (27.3%)、「和太鼓」が23 (26.1%) でほぼ互角であることに対して、口伝グループは「西洋音楽」が15 (19.7%)、「和太鼓」が31 (40.8%) ということ、21ポイント増、2倍の値を示して

いる。譜読みをせずに歌い覚えながら演奏できる和太鼓の音色そのものにも好意を寄せていることがうかがわれる。

グラフ 4-3 d)

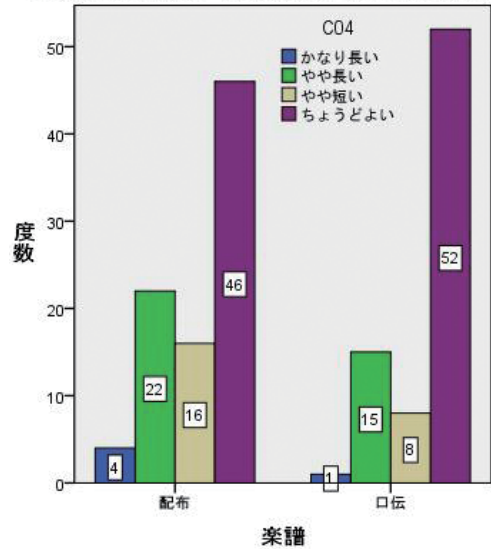


04) 取扱い時間について①；1コマ90分の中で20～30分枠はどう思いましたか。

グラフ 4-4 において、「ちょうどよい」は配布グループが46 (52.3%) でほぼ半数が時間的には適していると答え、口伝グループは52 (68.4%) で配布グループよりも16.1ポイント多い7割近い賛同が寄せられた。一方で「かなり長い」「やや長い」の合計は配布グループが26 (29.5%) でほぼ3割が「長い」と回答し、口伝グループは16 (21.0%) で配布グループよりも8.5ポイント少ないものの約2割が長いと感じている。実時間は変わらなくとも長いと感じないような授業展開につとめていきたい。

グラフ 4-4)

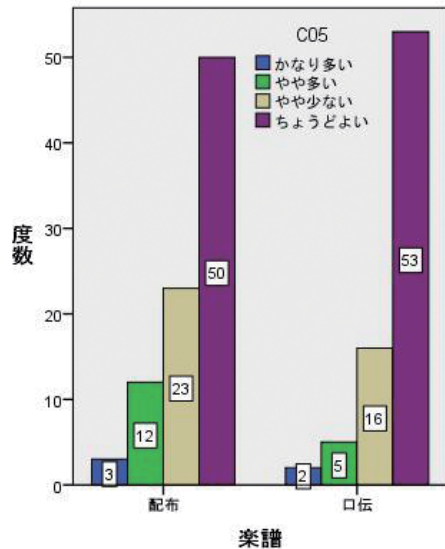
1コマ90分の中で20～30分枠はどう思いましたか。



05) 取扱い時間について②；15回授業のうちの4回枠はどう思いましたか。

グラフ 4-5)

15回授業のうちの4回枠はどう思いましたか。

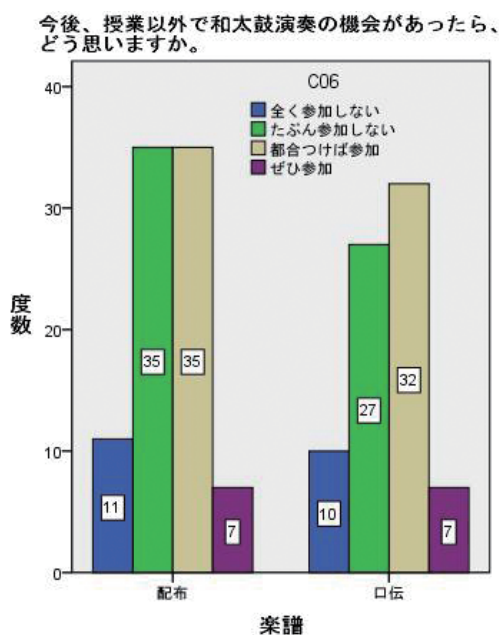


グラフ 4-5 には、「ちょうどよい」が配布グ

ループで50 (56.8%)、口伝グループは53 (69.7%) で配布グループよりも12.9ポイント多い7割近くが回数に適していると答え、一方で「かなり多い」「やや多い」の合計は配布グループが15 (17.0%)、口伝グループは7 (9.2%) で配布グループよりも7.8ポイント少ない1割弱が多いと感じている。前問の「時間」と比較すると「回数」に関しては適しているとの回答が多い。限られた回数の中で充実した内容にて展開できるよう今後も進めていきたい。

06) 今後について；今後、授業以外で和太鼓演奏の機会があったら、どう思いますか。

グラフ 4-6)



グラフ 4-6 から「ぜひ」「都合が付けば」参加すると回答した数は、配布グループが42 (47.8%)、口伝グループが39 (51.3%) で両グループの間に大きな差はないことがわかる。

この設問を除いては口伝グループの方が高い値を示すことから、今後和太鼓の演奏に関しては口唱歌による伝え方を徹底し、充実した授業体験をきっかけに一層和太鼓演奏の輪がひろがっていく

よう尽力していきたい。

#### ④質問D (自由記述)

自由記述欄は「和太鼓演奏」について受講者からの意見や感想を自由に記入してもらった。「なし (未記入=113)」「肯定し好意を寄せる感想 (=44)」「意見 (=3)」「否定的感想 (=1)」「その他 (=3)」の5つに分類し、誤字脱字等を一切修正せず原文そのままに以下へ記す。

#### 肯定し好意を寄せる感想

- ・たいこ、楽しく参加できました。たいこなんて本当に小学低～中学年にしたらいでひさしぶりとか本当にもうなんだかなつかしかったですが、とても楽しかったです。機会があればまたチャレンジしたいです。
- ・和太鼓に触れたのは保育園の運動会で演奏した以来だったので懐かしくて楽しかったです。やっぱり楽器で音楽をすることはおもしろいです。
- ・和太鼓にふれる事がなかったのでよい体験ができてよかったです。
- ・楽しかったです。
- ・初めて和太鼓をして楽しかったです。
- ・保育園の時以来だったので久々でたのしかったです。
- ・和太鼓はとても楽しかった。毎回おまつり気分でした。もっとしたかった。
- ・小さい頃から地元の祭りで和太鼓に触れた経験があり、和太鼓の音がとても好きなので、楽しんで取り組むことができました。
- ・たのしいです。
- ・楽しかった。
- ・興味があったので楽しかったです。
- ・授業を通して貴重な経験ができてよかったです。
- ・たのしく講義をうけられた。
- ・みんなで一緒にするのが楽しかったです。
- ・たのしかった
- ・たのしかったです。
- ・和太鼓すき
- ・楽しかったよ！またしたい
- ・和太鼓をしたことがなかったので経験出来て良

かったと思いました。また和太鼓の音がとても良かったです。

- はじめて和太鼓をしてリズムがいっぱいでむずかしかったけどスッキリでき気晴らしになりました。
- 初めて和だいの経験ができた。よかったと思う。
- 楽しかったです。
- 保育園以来にしたので楽しかったです。
- 全員で演奏できてたのしかったです。
- たのしかったです☆和太鼓をちゃんと演奏するのは初めてだったので、またしてみたいです。
- 太鼓をたたくことで、スッキリ出来る。強くたたいたり、弱くたたいたり楽しかった。
- たたいていてスカッとします。
- 和太鼓楽しかったです。
- 和太鼓はリズムが大切だと思った。演奏は聞いたことがあって、初めて聞いた時は鳥肌が立ちました。
- たのしかった。
- 皆で楽しくできたので良かったです。
- 久々にしたからたのしかったです。
- 和太鼓は難しそうなイメージだったのですが、ちゃんと練習すれば上手にできるし、とても楽しかったです。
- 和太鼓たのしかったです。
- 楽しくできた！！
- はじめの方はラップのしんとかでやったのが太鼓への興味がわくきっかけになったと思うので良かったですと思います。
- 楽しかったです。
- 初めての和太鼓でとても楽しくすることができ、さらに興味を持ちました。
- とっても楽しくストレスはっさんって感じでした！！
- 決められたリズムをたたくのは難しかった。でも、先生が最初にリズムをぬき出してやってくれたから分かりやすかった。楽しかったです。
- 大きな音でスカッとして楽しかったです。
- はじめのほうは、右左のたたき方がむずかしかったけど、慣れてくると楽しかった。

- 振り付けが楽しかった。
- リズムが難しいし、手の動きも難しいけど慣れてきたらやっていて楽しかったです。

#### 意見

- どうせやるならしっかりとやりたいので、時間も回数ももう少し多い方が良いです。
- もう少し和太鼓の授業をしてほしい。
- おもいきり大きい力でたたきたいなあと思いました。

#### 否定的感想

- しんどかったです。1人ずつするのは時間ももったいないです。15分1回で良かったと思いました。

#### その他

- 和太鼓は全くしたことがなかったから楽しかったけど、あまり興味はわかenかったです。  
(・和太鼓とバチのイラスト)
- たたくことは楽しいが、もっと音楽に合わせて太鼓をしたい。

#### 5. 最後に

多くの受講生は日本に生まれ日本に育ち現在に至っているが、音楽経験のほとんどを西洋音楽で過ごしてきている。このような環境の中、日本の伝統音楽を受け入れられるのか、和太鼓演奏を通して考察してきた。近年、日本音楽に接する機会が増えてきているとはいえ、音楽の基礎的な学習や実践は圧倒的に西洋音楽に軍配が上がる。であればこそ、西洋音楽で培ってきた読譜能力やリズム感、アンサンブル能力を日本音楽に応用できるものか、初心者向けの簡易曲を用いて、従来の西洋式楽譜を読むグループと本来の伝承法である口唱歌のみによる演奏グループに分け進めた結果、やはり口唱歌を用いる方が効果の上がることを示していた。自由記述の中にも、楽しいだけにとどまらず、もっと時間をかけて取り組みたいと積極的な意見もあり、これからも限られた時間、設置条件の中、より充実した授業内容となるよう研究

を深めるとともに自身の演奏技術を高める努力も惜しまず継続していくべきであることを実感している。

今後、受講生がこの授業を終えて卒業した後、就職する保育所・幼稚園等の現場で、いきいきと活躍してくれる姿につながることを切に願い、今後もより一層研鑽を深めていきたい。

〈脚注〉

- \* 1 文部科学省 小学校及び中学校学習指導要領（1998年告示）、同新学習指導要領（2008年告示）
- \* 2 『歌のミュージックランド』（2008年）掲載 教育芸術社
- \* 3 太鼓集団輪田鼓講師・樫原みな子が初心者用にアレンジしたものを筆者が聴取作譜（2011）
- \* 4 こうべ和太鼓センター（神戸市兵庫区）太鼓集団輪田鼓講師による保育士・教員対象の和太鼓講座 月2回開講